

日本赤十字社和歌山医療センター 医療連携だより

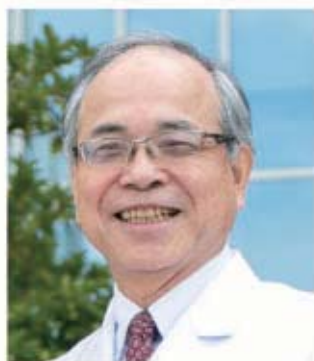
冬号
No. 68



和歌山医療センター
和歌山市小松原通四丁目20番地

TEL: 0120-965-582 (医療連携課)
(発行責任者) 管理局長 宮本 明典

FAX: 0120-937-510 (医療連携課)
e-mail: renkei@kankyoe.jp



新年のご挨拶

院長 平岡 真寛



あけましておめでとうございます。新年を迎え、医療連携ネットワーク会員（以下、ネットワーク会員）の諸先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年は、記録的豪雨や北海道地震と災害の多い一年でした。次々と起きた天災によって人工物はその脆さを露呈し、インフラの寸断によりこれまで当たり前だと思っていた暮らしが大きく揺さぶられました。7月に西日本を襲った記録的豪雨では、和歌山も例外ではなく様々なところで被害がありました。被害に遭われた方々にはこころよりお見舞い申し上げます。

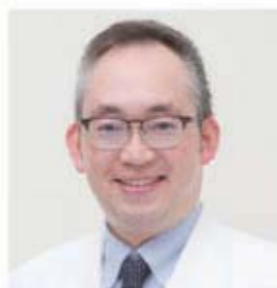
さて、昨年4月より、がん患者の発症に関連した数百種類の遺伝子を網羅的に調べ、患者さんの治療や診断に役立てる「がんゲノム医療」が始まり、当センターは「がんゲノム医療連携病院」に指定されました。これにより、個々に最適な治療法を選択し、治療方針を決める Precision Medicine を開始することが可能となり、昨年末時点までに、2例施行しました。「先進医療B」でスタートしたがんゲノム医療ですが、予定症例数に達したため昨年11月をもって「先進医療B」での登録は終了となっており、現在は自由診療にて対応しております。今後、保険収載されるようであれば適宜対応していく予定としております。

また、昨年9月には緩和ケア内科を新設し、10月より緩和ケア病棟「ひなげし」を開設いたしました。南館13階のワンフロア20床ですが、眺望が良く、また空中庭園を有しています。患者さんや、そのご家族にとって、心理的・社会的な苦しみや悩みを和らげ、その人らしい時間を過ごせるように支えていくケアの場ができました。緩和ケアは、がんの進行した患者さんに対するケアではありません。がんが進行してからだけではなく、

がんと診断されたときから必要に応じて行われるものです。緩和ケア病棟では医学的な側面に限らず、幅広い対応をしております。該当される患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ一度ご相談ください。

「救急・災害医療への対応」、「高度で先進的な医療の提供」、「がん医療の提供」の3つが当センターの使命、役割です。地域の中でこれらの役割を担うことができているのも、地域医療機関の先生方のご理解・ご協力の賜物と、感謝しております。その地域医療機関と当センターの連携体制の中心となりご尽力いただいているのが、ネットワーク会員の諸先生方です。当センターが地域の先生方と密な連携を取るために、平成12年9月に発足した医療連携ネットワークの会ですが、多くの先生のご賛同とご支援をいただき、昨年12月末で会員数686名を数えるまでに至りました。昨秋に行った医療連携ネットワークの集いでは、今年度着任した伊藤第一泌尿器科部長、江崎心臓血管外科部長より当センターの取り組みをご紹介させていただくと共に、百名副院長兼医療連携総合支援センター長より地域連携の取り組みの報告をいたしました。今後、ネットワーク会員の諸先生方と当センター医師との関係を今まで以上に深めていきたいと考えております。具体的には、医療連携ネットワークの集いの小規模版として、診療科単位で専門性の高い勉強会、懇話会を開催したいと考えております。開催時には、ご連絡を差し上げますのでご参加いただければ幸いです。

最後に、ネットワーク会員の諸先生方にとりまして幸多い年になりますよう祈念しまして年頭のご挨拶といたします。どうぞ今年もあたたかいご支援とご助言をこころよりお願い申し上げます。



がんゲノム医療センターの 設立とその役割について

がんゲノム医療センター長 兼 乳腺外科部長 芳林 浩史

平成30年11月1日に日本赤十字社和歌山医療センターにがんゲノム医療センターが設立され、この度センター長に拝命されました。がんゲノム医療センターについてご紹介させていただきます。当センターの新規がん診断・治療症例数は年々増加し、平成29年度は2,400件まであと少しのところまでできました（院内がん登録集計より）。私たちは和歌山県のがん医療において大切な使命を担っていることを実感し、病院の4つの戦略目標の柱（がん医療、高度医療、救急医療、医療連携）の一つとして職員一丸で取り組んでおります。

近年、プレシジョン・メディスン（Precision Medicine）—日本語で表すと「精密医療」ともいいます—という言葉が広く使われるようになってきました。簡潔に述べますとがん領域では患者さんのがん遺伝子のタイプによって薬剤の効果や副作用を予測し、それに基づいて治療を行うことを指します。当センターは平成30年4月に全国でも100施設しかないがんゲノム医療連携病院に指定されました。また、その内50の先進医療認定施設の一つとしてNCCオンコパネル検査をがんゲノム医療センター主導で実施いたしました（予定症例数到達のため検査終了）。

現在、当センターで取り扱っているがんゲノム医療に伴う検査は①オンコプライム（自費約90万円）と②Guardant360（自費約40万円）があります。今後、平成31年4月頃にはがんゲノム医療に公的医療保険が適用される見通しです。適応されれば、保険診療でできる検査も導入する予定にしております。検査の対象は固形がんで手術

や化学療法などの標準治療が終了し、治療法のない患者さんとなります。患者さんやご家族の方から相談を受けられましたら主治医の先生から「がんゲノム医療相談窓口」（医療連携課）まで電話（0120-965-582）でご連絡を下さい。ご連絡後、2週間以内に患者さん・ご家族に「がんゲノム医療外来」（セカンド・オピニオン対応）へ来院いただく日時を調整・連絡します。なお、主治医の先生からご連絡をいただくのは事前に治療歴や診断に関する情報や病理検体のご提供をお願いしているからです。詳細は当センターのホームページにも記載しておりますので、お手数をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。がんゲノム医療はこれ以上治療法のない患者さんに新しい治療法の糸口を見つける検査です。検査費用は高額で、必ずしも治療に結びつく結果が得られるとは限りませんが、もしご興味を持たれる患者さんがいらっしゃいましたらご連絡をお願いします。

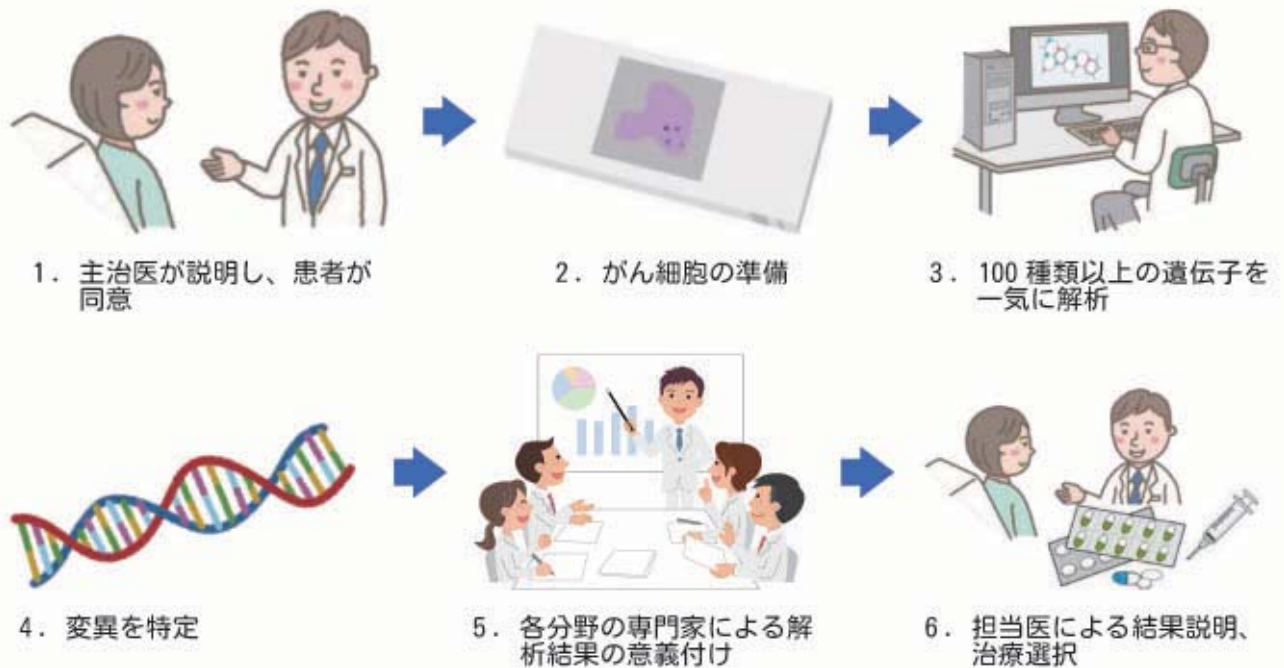
また、がんゲノム医療を行うにあたり、センター化したことには理由があります。それは患者さん・ご家族の支援体制を当センターが得意とする専門医療チームで行うためです。現在、がんゲノム医療は様々な情報が飛び交い良い面ばかりがクローズアップされているように思います。このような状況の中でがんゲノム医療コーディネーターは、患者さんやご家族に良い面も悪い面もすべて、本当の意味での理解を促し、心理面でのサポートや治療法選択の意思決定を支援します。また、検査の結果で偶発的に「遺伝性腫瘍」などが発見され

ることもあります。そのような場合には臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーが対応します。このようにがんゲノム医療全体の流れを通して専門医療スタッフがそれぞれの力を発揮し、患者さん・ご家族が安心・納得してがんゲノム医療を受けられるように体制を整えています。

今、がん医療は大きな転換期を迎えようとしています。今後は究極の個別化（がんゲノム）に基づいて、治療方針が決定されるようになる時代がくるかもしれません。診療科の縦割りや臓器別の

治療でなく、診療科・臓器・職種横断的な医療の提供が求められるでしょう。その時には診療科・臓器・職種横断的な専門医療チームで構成しているがんゲノム医療センターが中心的な役割を担い、和歌山におけるがん医療の向上を目指したいと考えています。がん医療の急性期、高度医療・救急は当センターが担い、がんの予防・検診や慢性期医療は地域の先生にお願いする役割分担を進め、地域全体でがん医療を担う体制を構築したいと思いますので、これからもよろしくお願ひします。

がんゲノム医療の流れ



当センターでの専門家による解析結果の意義付け

平成30年度診療科別合同セミナー・講演会等一覧

当センターでは、地域の先生方のご意見を伺い、よりよい病診連携に繋げることを目的とし、意見交換会を行っております。
今後とも開催時には、ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

平成30年10月～12月開催分

日時	診療科	会合・講演会名	参加人数
10月11日(木)	耳鼻咽喉科	第19回和歌山・泉南耳鼻咽喉科頭頸部外科臨床研究会	32名
10月13日(土)	消化器内科	和歌山消化器疾患懇話会	54名
10月18日(木)	呼吸器内科	第6回和歌山呼吸器連携カンファレンス	20名
10月25日(木)	乳腺外科	第11回 Breast Cancer Network Construction Seminar	54名
11月15日(木)	呼吸器外科	第2回和歌山地域肺がんの集い	35名
11月15日(木)	整形外科	平成30年度第2回大腿骨地域連携バス合同カンファレンス	79名
11月17日(土)	脳神経外科	平成30年度第2回脳卒中地域連携バス情報交換会	82名
11月28日(水)	整形外科	第5回整形外科疾患講演会	38名
12月19日(水)	消化器内科	早期胃癌研究会12月例会 web 模擬中継	70名

就任のお知らせ

1月1日付

外科部 **山田 真規** (医師)
耳鼻咽喉科部 **森田 勲** (医師)

上記の職員が新たに就任いたしました。
よろしくお願ひします。

退職のお知らせ

10月31日付

麻酔科部 **宮崎 里紗** (医師)

12月31日付

集中治療部 **辻本 登志英** (部長)

耳鼻咽喉科 **中平 真衣** (医師)

上記の職員が退職いたしました。
大変お世話になりました。

医療連携課では、地域の先生方とよりよい医療連携ができるよう日々邁進しております。診察予約、オンライン検査予約に関すること、ご紹介患者さんの返書、勉強会・意見交換会、その他医療連携に関することに関して、お問い合わせ・お困りの事等ございましたら、いつでも医療連携課までご連絡ください。

TEL : 0120-965-582 (医療連携課) 【平日 : 9時～17時30分】

TEL : 0120-936-385 (予約センター) 【平日 : 9時～19時 土曜 : 9時～13時】

FAX : 0120-937-510 (医療連携課・予約センター 共通)